

東北地方太平洋沖地震、大丈夫でしたか。

マグニチュード九.〇。世界最大級の地震でした。関東地方にも被害が及び、二十三区では震度五強。新東海中国語学院内も、書類等が散らばり水槽の水が飛び出すなど、これまでにないような大きな揺れを感じました。

中国をはじめとする各国ではトップニュースとして大々的に報道され、史上初ともなる中国からの救助隊派遣が行われました。

臨時トピック！！

私、神野は三月末から十日間、中国の上海に行ってきました。印刷機の電気を少しでも節約できるよう裏面をなくした分、神野の言葉もかねて、新トピックを作りたいと思います。

海外の報道……

今一番気になるのは、やはり海外での報道。間違った情報がいつてしまっているのでは……？日本政府は、すべてを発表しているんじゃないかと、でも海外では知れ渡っていることがあるのでは……？不安の要素は沢山あります。

今回、海外に行くことで、わかったことがいくつかあります。まず、中国の報道。わたし個人としては、日本での報道となんら変わりないように感じられました。福島第一原発の話。津波の話。どれも、知った話で、知った状況でした。

では、海外の人々はどのようにしてわれわれ現地の日本人より今回の災害を大変に思っているのでしょうか？

報道のちぐはぐ

情報はどのようにして報道されるでしょう。まず、事件や事故が発生します。それが現地のマスコミや政府によって取材等され、情報収集が行われます。この情報が海外の報道機関に伝わります。海外の報道機関は、それを自国の言葉に翻訳して報道します。

この発生→取材→伝達→翻訳→報道の手順のうち、特に「翻訳」の部分で、言葉の微妙なニュアンスの違いが生まれ、ことが重大化して報道されてしまうこともあるのではないのでしょうか。「普通じゃない値の放射線量」と聞くだけで、「まだ人体に影響があるかないか」なんて気にせず、「放射線量が異常になっていて危ない」と伝わるかもしれない。現地にいない分、もしかしたら聞いた情報を自分で編集してしまうかもしれません。

海外の人々が大げさに騒ぐのは、そこに理由があるのかもしれない。